

第7期 第5回 外国人市民会議のまとめ

〔日時〕 平成31年(2019年) 2月22日(金曜) 午後7時から9時

〔会場〕 とよなか国際交流センター 会議室2A

〔出席者〕

委員:

・片山 フィオナ

・陳 琛

・ELMTOUNI ACHRAF

・畢 微

・劉 国相

・LEVEQUE MARC

事務局: 人権政策課

〔傍聴者数〕 1人

〔案件〕

1. 前回(第4回) 会議の確認

→ 事務局より 資料1 「第7期 第4回 外国人市民会議のまとめ」について説明

2. 第7期外国人市民会議の報告書について

→ 事務局より 資料2 「第7期外国人市民会議報告書(案)」について説明

・追加で載せたいことについて話し合いたい。

・最後に委員の感想文を載せる予定

《 意見 》

・大阪万博やオリンピックにあるので、英語や中国語の地図を用意するなどの、いろんな準備が必要。

・日本に長く住んでいる人と、旅行などで一時的に滞在する人のそれぞれへのアプローチが必要。

・パンフレットなどが日本語表記でも、絵やルビがあるとわかる外国人も多い

・日本に着く飛行機の機内で流れる映像に、簡単な防災のビデオを流すといい。

• 入国するときに 防災に関するパンフレットのようなものはもらえないのか？

→事務局 関西空港では、来日する人に、災害時の緊急対応について書かれているパンフレットを配っていると聞いた。

• 災害時に自分の国の大使館を頼るのも一つの手ではあるが、効率的ではない。行政などの案内で日本人と同じ動きが出来たらうれしい。

• 災害が起こった時に、市役所は市民に対していろいろな相談窓口があるが、言葉が通じなかったときに 国流のスタッフなど、通訳がいる状況が一番効率的だと思う。対応できるようにしているか？

→事務局 昨年の災害の時は、ホームページに英語とひらがなで相談先（国流と外国人市政案内・相談窓口）を載せていたが、それは何か起こった後の対応。問題点としては、ホームページに多言語で情報を載せていることの認知度が低いことと、普段どういった形で市や国流の情報を発信しているのかという事。なにかアイデアがあれば。

• 今回の災害によって被害を受けた、という相談はあったか。

→事務局 市には無かった。

→国流 日本語教室に通っている外国人にアンケートをした際に、不安だったことについての意見はあった。多言語の相談会も行ったが、地震から1週間後ということもあり、地震についての相談はあまりなかったと思う。次地震が起こったらどうすれば、という意見は少しあった。

• 日本の英語（和製英語）がわからない。直したほうがいい。

• 国際交流センターの認知をもっと広めたほうがいい。直接市役所に行ってもわからないことがある。冷蔵庫に貼れるマグネットのような、誰でも持ってるような広告があるといい。日本に長く住んでいる外国人が周りの外国人に国流の存在を知らせられたらいい。

• 情報収集の方法としてインターネットをよく使うが、震災時は電源が無かったら使えない。緊急の時に公の施設で充電できるようにしたらどうか。できるのであれば、それを事前に市民に知っておいてもらう必要がある。

→事務局 台風が来たとき豊中市も停電していたが、電気が通っている施設では充電できるようにしていた。

・日本の滞在が短い人に、防災に関する常識をわかりやすい形でおしえられたらよい。

・多言語の情報や、防災のパンフレットなどを、観光客が泊まる場所に置いたらいいのではないか。

→事務局 観光客の人を対象に関西空港にて、日本で災害にあった時の情報について書いてあるパンフレットは置かれているが、それが行きわたっているかどうかはわからない。

・災害時の防災のアプリやサイトを作ればいいと思う。技術的には難しいことではない。

自動的に自分から一番近い避難場所を教えてくれるもの。

・個人的に、私たち(外国人市民会議の委員)の意見がどう反映されるのか興味がある。今後もフォローしていきたい。

→事務局 市だけでできることは広報する必要があると思う。国流でできることも同様であり、SNSを使った多言語の情報発信もしているので、意見を反映させて改善していくのはこれからの事になる。

→事務局 防災マップの多言語版が欲しい、という意見があったが、すべての国、言語に対応できるものを作るのは難しい。より効果的なものを作るにはどうしたらよいか。

・ローマ字はややこしい。長期的に住む人を対象に作るなら、シンプルな日本語で作るほうが良いと思う。日本語を学ぶ機会にもなる。豊中市以外がどんなことをしているか調査をしてもいいと思う。

→事務局 自分と同じ国籍の人がいて、つながりたいと思うか。繋ぐ役割はどこがすべきか。

・自分と同じ国籍の人がどこにいるかは知らないが、連絡を取ってみたい、集まりたいと思う人はいるかもしれない。私たちのような外国人が、日本の事を自分の国の言語で教えて

いける 環境が あればよいと 思う。国流の イベントを増やし、いろんな国の人が集まれる
ようにしたら、集まりたいと 思っている人が 来て、そこで つながることが 出来ると 思う。

・ いろんな国の人 が 住んでいることに 対して、100%対応することは 難しいと 思う。みんな
が まね出来るような、納得できるようなものを 作れたら いいと思う。

・ Facebook の 使い方を 工夫したらいい。コミュニティづくりに 活かせるのではないか。

・ 防災のための グループを 作るのではなく、豊中市での 生活者用の グループがあるといい。

交流のために 活用し、いろんな 情報交換ができれば、いろんな人が そのグループに 気楽
に入ることが 出来るようになると 思う。そこで 防災についての 情報を 掲示するといい。

→ 国流 市や国への 提案の中に、「国際交流センターで 国ごと・言語ごとに 正しい情報を
発信できる人を 育てたらいい。同じ国、言葉のコミュニティで 安心・共感できると 思う。」

とあったが、委員の皆さんの 周りには どういった コミュニティが？

・ 中国の コミュニティ、主 に 豊中に 住んでいる 中国人(特に お母さん)での ウィチャット
の グループがある。教えたいと 思った人が 情報を 発信できる場所 になっている。災害時
は ニュースを 見るよりも 早い情報源で、役に立った。

・ 日本に住む オーストラリア人の グループと、大阪に住む 外国人の グループがある。主に
イベント情報を 発信している。日常的な 生活は 日本人と 接する機会が ほとんどだが、
自分の国や 同じ言語の人に 会えるのは 嬉しい。

・ アラブ人の コミュニティと、アラブ人と 日本人の コミュニティが ある。困ったときは
日本人のいる グループを 活用できる。

・ 中国人グループで、友人に聞いた 話だが、誹謗中傷のような 内容が 書き込まれているら
しい。

→ 国流 居場所づくりや、日常的に 人が来られる といふところを 大事にしている。情報
発信や コミュニティを 考えて、イベント、SNS といふところを 組み合わせることが でき

ればと思う。また、コミュニティを国で分けるのではなく いろんなトピックで分けるよ
うな、緩やかなグループの広がりが ある状態が 望ましいかと思う。

- ・相談相手がある状況、また その中に日本人がいると 助かるし、信頼関係の構築に つな
がると 思う。助けてもらった分 自分から 動くとする 外国人も いると思う。

事務局で出た意見について簡単にまとめる

3. その他

- ・委員の皆さんへ 報告書に のせる 感想文の 提出を 依頼。
- ・報告書案は 今回の 会議の内容を 踏まえて 修正し、3月中の 完成を 予定している。
- ・報告書が できたら、市長へ第7期 外国人市民会議の 報告を 行う。4月以降を 予定してい
る。後日 日程調整を行う。